

2025年冬季号

発行日
1月26日

2024年11月通常会議版

(会期：11月25日～12月23日)

大津市御陵町3-1 (市役所内)

TEL：077-528-2842

FAX：077-524-5613

日本共産党

大津市会議員団 市会報告

ご意見・ご要望を
お寄せください。

info@otsu-jcp.net



HPをリニューアルしました。
議員のSNSもこちらから
確認できます。



誰もが希望
を持てる

いのち・くらし

最優先の安心の市政へ

昨年の総選挙では、国民の苦しい暮らしをかえりみない裏金政治に厳しい審判が下り、与党は過半数割れに追い込まれました。いま、「政治は変えられる」が、国民の確信となり新しい政治状況が生まれています。平和憲法を守り、市民の暮らしの困難に寄り添う安心の市政実現へ、共産党市議員団は、皆さんと力を合わせて公共の再生に取り組みます。



2025年
新たな
決意で！

公共交通の充実で 安心のまちを

買いものや通院など、市民の暮らしを支えるバスの減便や撤退で、高齢になっても車を手放せない状況です。市民の移動権を保障し、格差を生まない誰もが安心して暮らせるまちへ、公共交通の充実を急ぐよう求めていきます。

人にやさしい 環境に配慮した市庁舎に

皇子山総合運動公園を候補地として今年6月までに新庁舎建設の基本計画を策定する方針が示されました。市民に親しみやすく、未来を見据え環境に配慮した機能的で働きやすい簡素な庁舎を求めていきます。

核兵器禁止条約に 参加する政府を

ロシアのウクライナ侵略と核の脅し、核保有国イスラエルによるガザや周辺国への攻撃など核の恐怖が世界を覆うもとで、日本被団協のノーベル平和賞受賞は、世界の人々に大きな希望となりました。大津からも日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める声を広げましょう。

ジェンダー平等の 取り組み強化を

国連の女性差別撤廃委員会は、日本政府に対して多岐にわたる政策の後れを指摘しています。地域から「男性らしさ」「女性らしさ」という社会的・文化的につくられた性差などの固定観念を払拭し、対等で公平な人間関係を築けるように促すことや、多様な性に対する理解を深めていく取り組みを強め、一人ひとりが持てる力を発揮できるまちをめざします。

防災対策の強化を

気候変動による猛暑や風水害は、年ごとに過酷さを増しています。災害対策への関心は高まっていますが、地域差や個人差があります。地域や個人任せにしない防災対策を求めていきます。

議会は言論の府、大津市議会の民主的改革へ前進を！

11月通常会議での柏木市議の市立逢坂保育園休園撤回を求める署名に誠実に応えよとの質疑・一般質問に対して、市長が質問の翌日に「質疑並びに一般質問における発言内容について」として議長宛に申し入れがありました。申し入れは、署名に対する回答がないとした質問は不適切で事実誤認であり、再三にわたる回答の強要だとしています。議長の采配で質問が終わっているにも関わらず質問内容について指摘するとは議会介入に他なりません。党議員団として強く抗議を行いました。

議会運営にはルールが必要なのは当然ですが、議会は「言論の府」であり、議員には「発言の自由」が保障されています。二元代表制の下、市民の代弁者としての役割を果たすための議員の発言の自由を侵害することは、議会制民主主義にも反します。党議員団として、議会の民主的改革への働きかけを強めます。

地産地消の循環型経済へ

昨年夏のコメ不足に続く物価高騰は、市民の暮らしをさらに深刻にしています。本市においても、物価高騰対策とあわせて、農林漁業や中小企業・小規模事業者の事業継続と振興、住宅や商店のリフォームへの支援の強化、再生、再生エネルギーの地産地消など、地域で循環する経済活動を促す施策を積極的に提案していきます。

社会を支える ケアワーカーの 処遇改善を

保育士不足を理由にした市立逢坂保育園の休園方針は、待機児童の抜本的解消にはつながらず、近隣自治体より低い保育士の処遇改善は待ったなしです。併せて、児童クラブや介護の現場での人手不足もますます深刻になっていきます。早急にケアワーカーの処遇改善に取り組みよう強く求めていきます。

質問 紹介

2024年11月通常会議

市民の安心の暮らしのために改善迫り論戦

林まり市議

市民の尊厳ある最期を支えるために

単身で老後を過ごす人が増え、同時に高齢者の孤立死が社会問題となっています。国は、急増する単身高齢者の身元保証や死後事務などへの支援について、自治体に補助金を出し遺品処分などを行うモデル事業を始めましたが、法的な規制もなく事業者に関する苦情が全国的に増加するなど問題が指摘されています。

林市議は、市民の安心の老後のために、東京都大田区が区内の65歳以上の高齢者に登録を呼びかけ、5人に1人が携帯しているという「見守りキーホルダー」を参考にして、同様の取り組みを行うことを求めました。



東京都大田区の登録無料「高齢者見守りキーホルダー」見本

市は 全国の事例の中の1つとして考え、調査をさせていただきたいと述べるに留まりました。

その他の質問項目

- 物価高騰から市民の暮らしを守ること
- 大津市総合計画第3期実行計画(案)

柏木けい子市議

誰もが安心して暮らせる支援について

障がい者の居場所や介護者のレスパイト、休日の余暇活動を支援しているのが日中一時支援です。この事業の利用者は年々増えて、障がい者支援に大きな役割を果たしています。大津市が事業者に委託をして、費用の単価を決めています。来年度に向け市は実際のサービス提供の時間に応じた報酬とすると単価の設定を変更しようとしています。

柏木市議は、この単価設定の変更で、事業者の減収が危惧される、市は事業所からの声を聴いたのかと質し、18年間上げてこなかった単価を上げるべきと求めました。

市は 減収になると一概には言えない、事業所の実態は把握すると答えました。

その他の質問項目

- 学校での側弯症の検診
- 市立逢坂保育園の休園撤回

杉浦とも子市議

すべての被保険者に資格確認書の交付を

政府は、去る12月2日から現行健康保険証の新規発行は停止し、マイナンバーカードと保険証を一体化したマイナ保険証に移行することを強引に進めています。「資格確認ができない」など医療機関でのトラブルが相次ぎ、全国での利用率は14%に留まっています。トラブルの大半のケースは、現行の保険証があったから、間違いが確認できたということです。マイナ保険証を保有していない人には、現行保険証の期限が切れるまでに「資格確認書」が交付されます。

杉浦市議は、保険料を払っているのに医療が受けられないことがないように、資格確認書を全ての被保険者に交付するよう求めました。

市は 医療を受けられない期間が発生しないように万全を期して対応すると答えました。

その他の質問項目

- コミュニティセンター問題
- 災害に強い水道事業
- 市立大津市民病院の中期目標



11月通常会議の議案、請願・意見書

市の手数料や利用料の値上げ案に**反対!**

共産党市議団は、物価高騰による経費増を理由にした、市内4,314事業者に影響する許可申請や検査にかかる手数料、葛川診療所の診断書等手数料、し尿の収集及び運搬手数料の大幅な値上げとなる手数料の改定議案について、困難な状況にある市民の暮らしや営業に追い打ちをかけるとして反対。また、市生涯学習センターの科学館プラネタリウムや展示ホールの観覧料の改定は、一般市民料金を値上げし、さらに割高な市外料金を設定するものです。子どもたちに大津の魅力を実感してもらえるよう低廉な料金に努めるべきで大津市民憲章にも反するとして反対しましたが、賛成多数で可決されました。

市立逢坂保育園の休園撤回を求める市民の願い、**否決!**

共産党市議団は、在園児の「子どもの最善の利益」を最優先に、市内で唯一の乳児対象の公立園として、専門的な役割を担ってきた歴史ある市立逢坂保育園の休園撤回と、公立保育士の処遇改善、段階的な採用数の増加による待機児童の解消を求めた賛成討論を行いました。反対議員が多数で不採択となりました。

コミュニティセンター条例改正、修正案に**賛成!**

今年4月1日までに市内35学区の公民館を廃止し、コミュニティセンターに移行するとしていた条例ですが、期限内に移行が整う見込みがないことから、移行期限を撤廃する条例改正が提案されました。共産党市議団は、地域の意向を優先するというものの、移行を前提に無期限に地域任せとする原案に反対し、次期総合計画基本構想の策定を見据え、3年の期限付きで検討と必要な措置を講ずるとした5人の議員から提案の修正案に賛成しました。

その他、市の最上位計画である大津市総合計画の第3期基本構想や大津市民病院の中期目標等、11月通常会議に市長から提出された議案51件のうち11件に反対しました。



	内容	日本共産党	新和会	湖誠会	市民ネット	公明党	維新	廉正会	立志会	協生会	清正会	平和
議案	大津市コミュニティセンターの一部改正<原案>	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×
	大津市コミュニティセンターの一部改正<修正案>	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
請願	市立逢坂保育園の休園撤回、保育士確保を求める	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
意見書	北方領土問題の早期解決等を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	刑事訴訟法の再審規定の改正に向けた議論を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	企業・団体献金の全面禁止を求める	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
	選択的夫婦別姓制度を直ちに導入することを求める	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

○=賛成、×=反対 (その他4件の意見書案が提出されました)
※討論の全文は、日本共産党大津市会議員団ホームページに掲載しています。

みなさんと
ともに
日本共産党
大津市会議員団

杉浦とも子
090-4491-1522

林まり
090-5045-2490

柏木けい子
090-1919-5298

小島よしお
090-5058-2832